

突然に気温が下がって秋が深まりました。講演会やほりだし市と大きな行事が次々とつづく10月でしたが、大勢の方々のご参加で無事終了しました。ありがとうございました。

お知らせ

- ・ヴォーリス六甲山荘一般公開最終 11月21日(日)
- ・ヴォーリス六甲山荘大掃除&暖炉とワインと石窯ピザを楽しむ会 11月23日(火・祝)
- ・町並み研究会+歴史的建築物研究会 12月11日(土) 神戸大学とその周辺地域
- ・駒井家住宅一般公開最終 12月11日(土)

予告1**町並み研究会+歴史的建築物研究会～神戸大学とその周辺地域**

冬の町並み研究会は歴史的建築物研究会と合同で神戸大学を中心にまわります。神戸大学の旧神戸高等商業学校時代の建物は1930年代に建てられたもので、国有形登録文化財にもなっている魅力的な建築群です。初冬の日、一緒に歩いてみませんか。

日時 2010年12月11日(土) 午前9時半 神戸大学正門前

訪問先 神戸大学、ロイ・スミス館、住友ゴム工業篠原寮、篠原北町

参加費 会員1,000円(昼食代別途自己負担)

定員 30名

詳しくは同封の案内チラシあるいはメールでのご案内をごらんください。

ご報告1 創立10周年記念講演会 10月9日(土)

河合雅雄先生と山極寿一先生という霊長類の研究では世界的に有名なお二人を迎えた講演会でした。あいにくの雨でしたが、約160名の来場者があり、熱心に聞き入りました。前半はお一人ずつの講演で、河合先生は里山の意義について、山極先生はゴリラの研究についてでした。畑儀文さんの「里の秋」の独唱といううれしいプレゼントをはさんで後半は畑儀文さんの司会による対談で、いずれも臨場感あふれる、体験に裏付けされた重みのあるお話で、あっという間に時間がすぎ、もっともっと聞きたいと思ったことでした。

**予告2****ヴォーリス六甲山荘大掃除&暖炉とワインと石窯ピザを楽しむ会**

今年度の六甲山荘の一般公開は11月21日(日)で終了します。冬ごもりの前に大掃除をして、ついでにうちあげをかねて楽しもうという企画です。暖炉に火をいれ、ワインをあけましょう。特に今年は石窯でピザを焼きます。すでにワーキングホリデーで経験しましたが、石窯で焼くピザは一味も二味もちがいます。楽しみにご参加ください。

日時 2010年11月23日(火・祝) 午前10時～

参加費 1,000円

参加ご希望の方はご連絡ください。また料理、ワインの持ち込みも歓迎です。お待ちしております。

ご報告2 ヴォーリス建築文化全国ネットワーク全国大会 10月16日(土) 北海道北見市

北見市はヴォーリスの作品としては北端にあるピアソン記念館があり、今回の大会はこの記念館を守るピアソン会が幹事団体として開催されました。総会のあと宣教師ピアソン夫妻とヴォーリスの交流、夫妻が北見の町での遊郭の建設を阻んだことなど町にのこした業績などを題材にした演劇が上演されました。地元の演劇人が集結しての演技で、市民も大勢観覧し、地元の人々もピアソン夫妻について認識が深まったようです。翌日の見学会ではピアソン記念館はもちろん、かつて北見に財をもたらした薄荷の記念館などを見学しました。ピアソン会の皆さんのあたたかいもてなしが心に残った大会でした。



清水 順子

ピアソン記念館は1914年(大正3年)築、ヴォーリス建築としては最北端にあります。北海道北見市の今では住宅街のなかですが、当時は野付牛(のつけうし)とよばれる原野のなかでした。小高い丘の上で、まわりに3本の柏の木があり、夫妻はこの柏が気に入って、この地を選びました。「三柏(みかしわ)の森」と呼び、便箋にも「Three Oaks」と印刷しています。

建物は木造下見板張りの2階建、外観はスイスの山小屋というイメージで設計されたそうですが、こじんまりとして、かわいらしいという印象です。建造にあたった地元の大工さんが初めて見る西洋建築の図面に困惑し、フィートと尺の違いに苦労して、設計図とはすこしがう出来上がりになりました。中は堅牢・質素。1階には居間、台所など、2階には寝室、風呂。決してぜいたくではありませんが、大きな暖炉を中心に人々が肩を寄せ合って暮らしていた往時がしのばれました。ピアソン夫妻はここに15年住んで、北見だけでなく北海道全域を視野にいれた伝道活動を展開しました。ピアソンは聖書を日本語に翻訳し、日本でのキリスト教の宣教に大きな役割をはたしました。また夫妻が購入した1835年製のリードオルガンが今も現役で、ミニコンサートで活躍しているそうです。

ピアソン会はとても研究熱心で、ピアソン夫妻だけでなく、周辺地域のキリスト教関係や北見の開拓関係の資料を沢山集めて展示しておられました。ピアソン夫妻の書簡も翻訳して、夫妻の業績を記録にとどめようと努力を積み重ねておられます。現在は北海道遺産に指定され、北見の重要な観光資源ともなっています。公開は週に6日で、年間約7,000人の来場者があるそうです。皆さんも北海道へ行かれるときにはぜひ北見もプランにお加えください。

ご報告3 てづくり工房ほりだし市 11月3日(水・祝) 草志舎

天気もよく、来場者も多く、賑やかな一日でした。会員の皆さんからもたくさんの手作り品、ケーキ類、総菜を寄せていただきました。有機生産農家の越智さん(大三島)と中嶋さん(熊本)からも季節の青果や加工品が届き、あしやくローバーの和のこもの、てづくりグループしんくえっとのコーナーもあり、はなやかな会場でした。皆さま、お疲れ様でした、そしてありがとうございました!

お昼ごはんの献立：牛肉の青シソはさみ焼き本ワサビ添え、じゃがいも餅、卵焼き、長ネギのマリネ、花豆、さつまいもご飯(コウノトリの郷の米)、すまし汁(きのこ、生ふ、湯葉、ミツバ)



おしゃべりアラカルト

神戸国際ワーキングホリデー参加者の感想

アナ・フィリポヴィクさん(英国)

この5(5/2)日間はほんとうにすばらしかったです。私が思ったことや感じたことをどう表現したらいいかわかりません。私はもっとも良い方法で日本を体験しました。スタッフだけでなく、私が紹介されたボランティアたちとのいろいろなお話を通じて、生活、文化、習慣、伝統などたくさんのことを知りました。班の仲間はよく働き、特に誰がというのではなく、みなが等しく貢献をしました。全員が違う作業を体験することで、班の意識も高めることができました。そればかりでなく、順子さん、孝子さん、清水さん、佐野さんが私たちが居心地よく過ごせ、決して退屈せず、おなかがすくこともないようにと準備された仕事とそのための努力を考えるなら、もっとたくさんの仕事ができたらうと私は思います!

そしてまた、私は環境とその保護についてたくさんのことを学べました。今までほとんど知らなかった方向へと自分の地平線を広げることができたのです。私は、今後も自分の環境教育と活動を続けていきたいと思ひます。

すべてがスムーズに運ばれるために、このイベントの準備期間と開催の両方に、たくさんのたいへんな作業が要っ

たことでしょう。ほんとうにお疲れ様でした。この企画に参加できたことに特別な思いを抱いています。

私の日本への旅行を特別なものにして下さってありがとうございます。日本、イギリスまたはセルビアで、みなさんに再会し、今度は私がみなさんをおもてなしできたらと思います。

みなさんがこのイベントをととてもよく進められたように、これからもすばらしい活動を続けてください。ありがとうございました!

孫秀如さん(台湾)

アメニティ2000協会から招いていただき、この忘れがたく充実した休暇を過ごせたことにたいへん感謝しております。また、アメニティ2000協会が歴史的建築物を大切に保存していること、そして私たちにこのような美しいところで6日間過ごさせてくださり、ありがとうございました。

いろいろな国から来たボランティアたちは、作業やセミナーでの学びだけでなく、日本の伝統文化や、飲み物、食べ物も体験し、この6日間のワーキングホリデーの運営にアメニティ2000協会の会員の方々の配慮を感じることができました。特に、和服を着たことと、茶道体験はまっ

たく新しく興味深い経験でした。また、茶道の毎回のお点前にも、日本の精神を感じました。

歴史的建築物を、外観を保存するだけでなく、日常生活を取り入れていくことが必要であると、私たちは今回のワーキングホリデーでのアメニティ 2000 協会の歴史的建築物の保存と活用の方法から学びました。それはまさに、ヴォーリズが一棟の建物を設計するとき考えたこと、生活にとけこまないといけないうことです。

Working, Walking, Eating、すべては生活の中でとても重要で、どこでも変わらない文化だと、私も、各国のボランティアたちも認識しました。

ありがとうございました！ほんとうに忘れがたい経験でした。今後もアメニティ 2000 協会と交流と連携をし、さらに学習と経験をつみたいと思います。



山北絵美さん(日本)

当初思っていた以上に楽しく、実りある working holiday でした。様々な国の方がいたので、英語だけでな

く、他の国の言葉(特に中国語)の勉強になりました。また、日本の文化を紹介する中で、逆に相手の国の文化も学べました。

ヴォーリズさんの建築もすばらしかったです。とくに、六甲山荘は、デザインだけでなく使いやすさも重視されていて、居心地よかったです。森林の勉強をしている私にとっては、様々な木が使われているのが印象的でした。京都にも木組み(?)の文化があり、色々な木を組み合わせて使う習慣があります。日本で建築というと、どうしても針葉樹を使うことをイメージしがちです。大手建築会社には、木というとスギ、ヒノキしか知らない人もいます。ヴォーリズさんが日本の文化を意識していたかは分かりませんが、私は六甲山荘から日本(京都)文化を感じました。

清水さんのお話の中で、年月が経ってヴォーリズ建築の良さが生きてきたというものがありました。住む人考えた建築というものが、結局一番長持ちするのだと思いました。それは、住む人が気に入って、大切に使うからかな、と思いました。

今回のワーキングホリデーは、食べ物が美味しかったのも印象的でした。美味しい食事があってこそ、皆元気に頑張れたと思います。日本では、ボランティアなどはあまり楽しんでやるイメージではありませんが、今回のようなもっとハードでもOKですが)楽しいイベントであれば、こういう活動に興味を持つ人も増えると思います。

6日間、ありがとうございました！！

予告の予告

タイ交流旅行へのお誘い!

アメニティ 2000 協会はタイ・チェンマイのYMC Aが行っている環境農業教育事業への支援を続けています。支援先の小学校を訪問し、教師や子どもたちと交流する交流旅行を来年 2 月にいたします。タイ北部の経済的には恵まれない地域ですが、子どもたちの笑顔はすばらしく、心が清められる思いがします。皆さんも子供たちの笑顔に会いにご一緒しませんか。なおオプションとしてベトナムの古都フエを訪問する予定です。

日程(予定) 2011年2月1日(火)~

六甲山荘だより

10月の六甲山荘

10月7日(水)から12日(火)にかけて笹倉徹さんの木工展が開かれました。木の持ち味をいかした、洗練されたデザインの作品が並ぶすてきな展示会でした。会期中は笹倉さんのファンと新聞記事の効果とが重なって、大変な人出となり、多い日には150人を超す来場者となりました。スタッフは大忙し、喫茶も大繁盛となりました。笹倉さんからは長テーブルをご寄付いただきました。山荘で大切にに使わせていただきます。



異常だった夏の影響か、駒井家住宅の庭ではフヨウがたくさん花をつけました。ススキが揺れているそばでフヨウが咲き、柿はほとんど実をつけていません。そんな季節でもお客様は次々と来られます。とくに関東方面からの方が多く、遠くは北海道や福岡からも来られます。遠来からのお客様でスタッフは意気に感じてご案内しています。



私たちの手でヴォーリス六甲山荘を育てましょう!

ヴォーリス六甲山荘募金報告(目標金額 2000 万円)

9月の募金状況 65,500円<累計8,640,249円(598名から1,540口)>
 会員 50,000円(6名から10口)<累計4,557,270円(407名から908口)>
 一般 15,000円 <累計3,197,345円(196名から637口)>
 一般団体 0円<累計81,000円(5団体から16口)>
 その他 500円<累計799,934円>

振込口座・郵便局 00950-5-36168 アメニティ 2000 協会



ピアノ記念館の庭に1本残った柏の大木

助成先が決まりました!

2010年度の助成金は、当協会の理事であるテノール歌手畑儀文さんが中心となって計画されている「うた 島めぐり」コンサート開催への助成と決定しました。少人数の離島の生徒たちに、大勢で声を合わせて歌う喜びを感じてほしいという畑さんの思いから企画されたコンサートです。助成金は子供たちの招待費用の一部にあてられます。

ご案内 うた 島めぐり~島の音楽会スペシャルコンサート

畑儀文さんは「小さな島の子供たちに合唱の楽しさを知ってほしい」との願いから、生徒数10人未満の島の小中学校を訪れて、合唱指導を行っています。その子供たちを招いてスペシャルコンサートが開催されます。アメニティ 2000 協会から助成をし、後援もしています。夢のある感動のコンサートとなるでしょう。

日時 2011年2月26日(土)午後1時半開演

場所 兵庫県立芸術文化センター大ホール

主催 「島の音楽会」実行委員会

後援 アメニティ 2000 協会

問い合わせ先 事務局 TEL06-6373-6057

Email:claudel@ac.auone-net.jp